学校番号	T3017

平成 31 年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	高校数学Ⅰ（実教出版）						
副教材等	電卓を使用						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協同で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の課程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・プリント学習を行いますので筆記用具と教科書を忘れずに持ってきてください。
・プリントは授業後に提出してもらいます。休んだ場合も提出してもらいますので最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基礎的な知識や技能を習得します。また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身につけることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析における数学的な見方や考え方を身につけている。	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	定期テスト プリント提出 観察等	定期テスト プリント提出 観察等	定期テスト プリント提出 観察等	定期テスト プリント提出 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">月</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">4
月</td><td rowspan="9">数と式</td><td>文字式のきまり</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="7">a：式の展開に関心をもち，目的に応じて式を変形しようとする。
b：１つの文字に着目したり，１つの文字に置き換えたりするなど，いろいろな式の見方ができる。
c：乗法公式や因数分解の公式などを目的に応じて処理することができる。
d：乗法公式や因数分解の公式を理解している。</td><td rowspan="9">定期テスト
プリント提出
観察等</td></tr>
<tr><td>整式</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>整式の加法･減法</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">5
月</td><td>整式の乗法</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>乗法公式による展開</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>因数分解</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">6
月</td><td>平方根とその計算</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="6">a：数量関係を不等式で表すことのよさが分かり，意欲的に考えようとする。文章題から二次方程式の活用方法を意欲的に考える
b：二次方程式の解について、いろいろな数値を代入したりして考察することができる。
c：無理数についての四則計算ができる。因数分解解の公式を用いて二次方程式を解くことができる。数量関係を１次不等式で表すことができる。
d：二次方程式とその解の意味を理解し解を求めるための基本的な知識を身に付けている。</td></tr>
<tr><td>実数</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>1次方程式</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>二次方程式の解法</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">7
月</td><td>因数分解を用いた
二次方程式</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>解の公式を用いた
二次方程式</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>不等式</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">9
月</td><td rowspan="3">２次関数</td><td>1次関数とそのグラフ</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="3">a：２次関数とそのグラフについて関心をもち，頂点や軸，グラフを描こうとする。
b：２つの数量関係を表や式，グラフなどを用いて考察することができる。
c：２次関数のグラフと元のグ</td><td rowspan="3">定期テスト
プリント提出
観察等</td></tr>
<tr><td>2次関数とそのグラフ</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>10
月</td><td>2次関数とそのグラフ</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

		2次関数の最大値･最小値			○	○	ラフの位置関係を調べることができる。 d: ２次関数について理解し，基本的な知識を身に付けている。	
11月	2次関数	2次関数の最大値･最小値	○	○	○		a: ２次関数の値の変化に関心をもち，具体的な事象の考察に２次関数の最大･最小を活用しようとする。 b: ２次関数の値の変化の様子についてグラフを用いて考察することができる。 c: ２次関数のグラフとｘ軸との共有点の座標を求めることができる。 d: ２次方程式の解の意味を，２次関数のグラフとの関係から理解している。	定期テスト プリント提出 観察等
		2次関数のグラフと2次方程式	○			○		
12月		2次関数のグラフと2次不等式			○	○		
1月	三角比	三角形	○		○		a: 三角比に関心をもち，直角三角形の計量に用いようとする。 b: 図形の相似の考えを用いて，直角三角形の辺の比を角との関係でとらえることができる。 c: 直角三角形を用いて考えられる計量問題を，三角比の記号を用いて表現し処理することができる。 d: 三角比の相互関係について理解し，基本的な知識を身に付けている。	定期テスト プリント提出 観察等
		三角比	○	○				
		三角比の利用			○	○		
		三角比の相互関係	○			○		
2月	データの分析	データの整理	○			○	a: データをグラフで表示することに関心をもち，グラフをかこうとする。 b: 散らばりを表す数値から，データの散らばり具合を読み取ることができる。 c: いろいろなデータを統計グラフに表すことができる。	
		データの散らばり		○	○			

		相関関係			○	○	d: 散布図から相関関係を調べるための基本的な知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：数学的な見方や考え方
c：数学的な技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。